

「第三者評価に参加して～事業者からのコメント～」

恒見保育園

第三者評価を受けるに当たり、昨年度よりあらためて園の事、職員について、保護者との関係、園の環境について等、いろいろな面から職員間で繰り返し話し合いを重ねてきました。その事によって今まで気づけなかった様々な事に気づかされました。職員間での意識の違いなどもはっきり出て、その事での話し合いも、うまく進まず視点がどこにあるのかわからなくなってしまうことも度々ありました。それらをすべて埋めることはすぐには難しい事ではありますが、改善できる事はすぐに、できない所も今後の課題としてとりあげていくことを決め、先ず子どもに目を向け、子どもが安全、安心、快適に毎日を送れる事を最優先にこれからの保育を行っていきたいと思います。

評価結果については

先ず、今年度は保育課程の見直し、それを踏まえての年間指導計画作成をはじめています。また遊びの環境についても職員一人ひとりからアイデア、意見を聞き子どもたちが自由に遊べる空間づくりに取り組んでいます。新年度はクラス懇談会も取り入れ保護者とも話し合いの場を持ち、相互のより良い関係を築くことも大切にしていきたいと思います。また、地域に根差した保育園を考えると、時代はどんどん変わり、家庭のあり方も変化する中、子育てについての情報など園から発信していく力も足りなかったのではないかと反省しています。60年の歴史に恥じないようにこれからの恒見保育園の独自性も考え、地域の方と上手につながり子どものしあわせを考えていきたいと思います。

この第三者評価に、参加できたことが意義あるものであった事に感謝したいと思います。実施評価の先生方、担当して頂いた職員の方、皆様本当にありがとうございました。